



【発行所】
 独立行政法人国立病院機構 岩手病院
 岩手県一関市山目字泥田山下48
 Tel : 0191-25-2221
 Fax : 0191-25-2157
 http://www.hosp.go.jp/~iwate
 発行責任者 櫻井 誠

「ふれあい看護体験」を開催して

患者さんとのふれあいを通して看護することや人の命についての理解と関心を深める目的で、5月9日(木)「ふれあい看護体験」を開催しました。

将来は医療関係で働きたいという市内・両磐地域の中・高校生 15 名が、看護師の説明を聞きながら、患者さんの食事介助や足浴、車椅子に乗るなどの体験をしました。最初は緊張した面持ちだった生徒さん達も患者さんが笑顔になると緊張が解け、和やかな雰囲気の中、ふれあっていました。

生徒さんからは「相手の気持ちを第一に考えることが大切だと学んだ」「看護師の仕事の本質を知ることが出来た。やっぱり将来は看護師になりたい」などの感想が続々と寄せられました。今回看護体験に参加していただいた生徒のみなさん、本当にありがとうございました。来年もお待ちしています。



副看護師長 懸田 恵



看護の日 院外イベントに参加して

5月29日、イオン一関店を会場にした看護の日の院外イベントに初めて参加しました。

今年のテーマは「ふれあい健康フェスタ 2018」ということで骨密度測定、子供を対象とした白衣試着体験と記念撮影、管理栄養士による栄養相談を実施しました。骨密度測定は、たくさんの方がお買い物の前後に来場してくれました。「測るのは数年ぶり」「初めてです」という声が多く聞かれ、普段測定する機会があまりないことを知りました。管理栄養士からは、骨密度の結果に

合わせてカルシウムの他に必要な栄養素を含む食品の紹介が行われました。

このイベントをきっかけに骨密度について興味・関心を持ってくださるお客様も多かったため、今後も看護の日のイベントを開催して地域の方々との交流を大切にしていきたいです。来場して下さった方々、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

看護師 吉田 真奈美



第10回 NHO岩手病院 公開セミナー開催



平成 30 年 6 月 12 日(火)「第 10 回 NHO 岩手病院 公開セミナー」を開催しました。平成 28 年 12 月から開催して 10 回目の開催であり、回数を重ねるごとに参加人数も増え、今回は 57 名の参加

となりました。

今回のテーマは、「パーキンソン病のくすり～観かた・効きかた・使いかた～」として薬剤科の氣仙拓也さんから講演を頂きました。参加者の多くは、訪問介護・訪問看護・通所リハビリ・訪問リハビリなどの現場の方で、「パーキンソン病の薬について大変勉強になった」「パーキンソン病の患者さんへ訪問予定があり、参考になった」など好評でした。

医療社会事業専門職 竹越 友則

平成30年度新規採用者研修に参加して

算定・病歴係 中村 絵里

5月16日から18日にわたり仙台医療センターで行われた新規採用者研修に参加しました。

北海道東北グループの様々な職種が集まり、国立病院機構の役割や社会人としてのマナーなどの基礎的なことに加え、職種別の内容として会計制



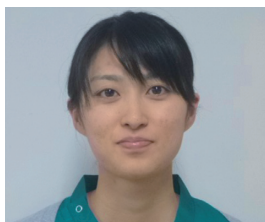
度や医療保険制度などについて学びました。意見交換会では同期と仕事の悩みや不安を共有し合い、有意義な時間を過ごしました。

研修を通して、病院や機構全体の中で自分の仕事がどんな役割を持っているか理解することが出来ました。また、入職してからの約半年間を振り返るきっかけとなり、今の自分に足りないことや今後の課題を見つけることが出来ました。研修で学んだことを忘れず、日々の業務を頑張りたいと思います。

日本ニューロリハビリテーション学会に参加して

理学療法士 浜島 利英

5月12日にいわて県民情報交流センターアイーナで「第9回日本ニューロリハビリテーション学会」が開催されました。ニューロリハビリテーションとは、神経-筋肉-感覚器系



のリハビリテーションを指し、当院で行っているHAL医療用下肢タイプ（以下HAL）による治療もそのひとつです。

今回、当院でHALによる歩行訓練を行った結果を発表してきました。東北のHAL導入施設は4施設のみであり、使用者同士で話ができる貴重な機会となりました。今回学んだことを患者さんに還元していきます。

院内カンファランス ～当院で使用している危ない薬について～

薬剤科長 佐々木 聖一

6月14日、院内カンファランスの一環として「当院で使用している危ない薬について」という題目でお話しました。

この研修は、医療法において「医薬品安全管理責任者は従業員に対する医薬品の安全使用のための研修を必要時に応じて行うこととし、他の医療安全に係る研修と併せて実施しても差し支えないこととする」とされているものです。



私たちは職業柄、処置や治療などで多種多様な医薬品を手に取り患者さんに使用しています。手に取ったことのある医薬品の中には、取扱い方によっては患者が重大な障害を負うことになることや最悪には死亡するものがあります。

私たち医療従事者は、日常的に医薬品を扱っているため「医薬品は危ないもの」という認識が薄くなる傾向があります。今年度は7対1の看護体制を行うため例年より多くの看護師が採用になりましたので医薬品のより適正な使用を心掛ける様お話いたしました。

私たちはよく取り扱う医薬品には危険薬が意外に多くあることを認識し注意して取り扱わなければなりません。知らない医薬品を取り扱う時には、薬剤師や先輩に聞いてその医薬品のことを知ってから使用する癖を是非、身につけて欲しいと願います。

永年勤続表彰を受賞して

作業療法士長 山上 幸生

この度は永年勤続表彰を受けましたこと、心より感謝申し上げます。これまで機構内で無事に勤めてこられたのも、関わりあえた数多くの方々のご支援、ご指導の賜物と実感しております。



「もう20年も経つのか、早いなあ」との思いが今の心境です。平成10年に南花巻病院(現:花巻病院)に入職し、仙台医療センター附属リハビリテーション学院、盛岡病院、そして岩手病院と、機構の病院としては四か所目となります。

患者さんはもとより、そのご家族、職員・同僚、学生たちと沢山の出会いの中から多くの事を学ぶことができました。しかし、まだまだ成長途中です。これからも皆様方からのご指導、ご鞭撻を頂きながら国立病院機構の一職員として、小さな歯車の一つとして努力を続けてまいります。よろしく願いいたします。

念願の、教育担当看護師長配置と障害者施設入院基本料7：1取得

看護部長 赤間 紀子

私が昨年4月に着任してから、早いもので1年が経過しました。その間、看護師確保にむけ、東北地区の東西南北を「雨にも負けず・風にも負けず」、年期の入った公用車を走らせ、看護学校・高校・ハローワーク等を訪問させていただきました。

当院では、はじめての看護職再就職支援研修会やドローン飛ばしのプロモーションビデオ初版も作成しました。このような活動ができたのも、職員の皆さまの支えがあったからだと感謝しております。お陰様で、岩手病院ではこれまでにない多くの新規採用者

37名をお迎えすることができました。

念願の教育担当看護師長も配置できましたので、さらに、職員の教育を充実させて看護の質向上にむけて取り組んでいきたいと思っています。また、入院基本料7：1が維持できるように頑張りたいと思いますので、今後とも、宜しくお願いいたします。



新規採用者研修



新規採用者集合



素敵な教育担当
看護師長

病院間看護師派遣表彰を受賞して

看護師 田村 咲子

この度は、表彰状をいただき、ありがとうございます。私は昨年度の採用で、1年間釜石病院のリハビリテーション病棟で勤務し、岩手病院に帰ってきました。派遣を承ったものの、経験もなく看護技術も全く未熟で、始めは不安で一杯でした。しかし、釜石病院での新人研修を受けながら、少しずつ看護師としての経験を積むことができました。



現在、当院の回復期リハビリを担当する病棟に勤務しています。釜石病院と同じ「リハビリテーション病棟」といっても患者さんの病態に違いがあることを実感しています。釜石病院では基本的な看護技術や多職種との関わり、そして何よりも患者さん・ご家族とのコミュニケーションの大切さを学びました。今後は学びを活かしながら患者さん個々にあわせ、安心して過ごしていただけるような看護を提供していきたいです。そのために技術・知識の学習を続け、チームの一員として患者さんに寄り添える看護師になれるよう努力していきます。

看護師 和泉 禎子

この度は病院間看護師派遣の表彰をしていただき、ありがとうございます。昨年4月岩手病院に入職し、一年間派遣職員として釜石病院で勤務してまいりました。



私は以前釜石近辺に数年間住んでいたことがあったのですが、その後東日本大震災が発生し甚大な被害を受けたことに心を痛めており、いつかお世話になった地域の方々のお役に立つことができればと思っていました。そのような経緯もあり、派遣のお話を受け任務に就きました。

釜石病院では重症心身障がい児（者）病棟に配置になりましたが、重症心身障がい児（者）の看護の経験がなかったため、役に立つどころか患者さんやスタッフの皆様には迷惑のかけ通しで、仕事を覚えることに必死で過ごしているうちに一年の任務を終えたという感じでした。現在岩手病院に戻り2ヵ月が過ぎました。まだまだ経験不足で未熟者ではありますが、釜石病院での経験や学びを活かし、真心のこもった看護が提供できるよう努力していく所存です。

最後に釜石病院の院長先生はじめ、お世話になったすべての皆様への感謝の気持ちを忘れず、これからの岩手病院での職務に邁進していきたいと思っています。

職員紹介 ①出身地 ②好きなこと ③何か一言

平成30年6月1日付採用



ささき まどか
佐々木 円 看護師

- ①一関市弥栄
- ②読書
- ③慣れるまで色々とお迷惑をおかけしますが、早く慣れるように努力します。

平成30年6月1日付採用



もり みさと
森 弥里 看護師

- ①北上市
- ②映画鑑賞、ツーリング
- ③一生懸命頑張ります。

平成30年6月1日付採用



すがわら ちえ
菅原 千恵 看護師

- ①一関市東山町
- ②スノーボード、お菓子作り
- ③以前にも勤務しており、知っているスタッフが多いので心強いです。またお世話になります。

平成30年6月19日付採用



すがわら ゆき
菅原 由紀 栄養士

- ①一関市藤沢町
- ②スポーツ観戦
- ③早く仕事に慣れ、患者さんを栄養面からサポートできるよう頑張ります。

診療体制 (平成30年7月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
神経内科	午前(再来)	豎山	工藤 ※物忘れ、頭痛など	千田(圭)	千田(光)	今野
	午前(新患)	千田(光) (第1、3) 今野 (第2、4)	阿部	豎山	小野	千田(圭) ほか
	午後	※HAL外来 今野 (第1、3、5週)				※リウマチ外来 千葉(実) (最終金曜)
呼吸器科		芦野	櫻井	芦野 (禁煙外来)	櫻井	芦野
内科		櫻井		櫻井	阿部	佐藤(良)
外科		平野 予約者のみ	平野		平野	
小児科			田澤		仙台医療センターから (月2回 第2、4)	※重症心身障害 大沼
リハビリテーション科		佐藤(智) ※ボトックス外来、 AGA外来など			宮	
歯科		佐藤(敦)	佐藤(敦)	佐藤(敦)	佐藤(敦)	
その他	専門外来は、すべて予約制です。 予防接種は、火・木 9:00 ~ 11:00 の完全予約制です。			※心療内科 伊藤 ※消化器科 仙台医療センターから ※アレルギー外来 千葉(友) (第2週)	※皮膚科外来 東北大学から	※循環器科外来 羽根田 (第1、3週)

職場紹介 — 研究検査科 —

研究検査科長の医師 1 名と臨床検査技師 4 名より構成されています。

検体検査・細菌検査・生理検査を中心に良質で迅速なデータ提供を目指しています。ICT や NST などチーム医療への参画も積極的に行っています。また、知識技術レベル向上のため各種認定の取得や学会発表も行っています。他部門からの閉鎖的イメージを改善すべく広く Door をあけて皆さんをお待ちしております。



取得認定：認定心電検査師、二級臨床検査技師、超音波検査士(循環器・消化器・泌尿器)、心エコー図学会認定技師

平成 29 年度学会活動：全国学会 3 演題、
地方学会 5 演題・2 講演

人事異動

【平成 30 年 5 月 31 日付】辞職

原田 道代 (非) 医師事務作業補助者

【平成 30 年 6 月 1 日付】採用

菅原 千恵 看護師

森 弥里 看護師

佐々木 円 看護師

【平成 30 年 6 月 19 日付】採用

菅原 由紀 栄養士

【平成 30 年 6 月 30 日付】辞職

吉田 真林 看護師



【編集後記】

夏至が過ぎて、いよいよ夏本番！ 気温もテンションも上昇傾向です。子供の頃も、大人になった今でも夏休みが待ち遠しい事変わりありませんが、健康な心身があってこそ楽しめる夏休み。今年はワールドカップイヤーだけに「暑さ半端無いつて〜」と泣き崩れる事がないよう、適度な？ビールの補給でしっかり体調を管理して、暑い夏を乗り切りたいものです。(HS)